

第4回

加瀬みきの ワシントン発 グローバル随想

引き裂かれるパワーカップル が象徴するアメリカ



イラスト・題字：長峯亜里

大統領を巡り真っ向から衝突

アメリカ政治を商いとする人々ばかりでなく、ワシントンのゴシップ好きが興味津々に見守るパワーカップルがいる。ケリーアンとジョージ・コンウェイ夫妻である。トランプ大統領の再選に影響を与える2人は大統領を巡り真っ向から衝突しているが、まさに今のアメリカの象徴でもある。

夫人のケリーアンはトランプ大統領の顧問。ケリーアン氏は長い金髪に細身で長身。名前を覚える間もなく側近が交代する中、政権発足時から同職にあり、鋭い口調で大統領を擁護する。一方、夫のジョージ氏は黒髪で顔も体系もぼつちやりしていて愛嬌^{あいきょう}がある。ことあるごとにトランプ大統領を厳しく批判し、同じ志の共和党関係者と共にトランプ大統領の再選を阻む活動を展開している。

ケリーアン氏は2016年夏、トランプ陣営でもクリントン候補の勝利を疑わないスタッフが解雇されたり辞任する中で選挙対策本部長に抜擢され、トランプ大統領誕生に大きく貢献した。そして、その実績を認められ大統領顧問になった。

ジョージ氏はハーバード大、イエール大卒でニューヨークの弁護士事務所のパートナーであったエリート弁護士。トランプ氏の不動産の1つ

で不動産管理委員会と衝突が起きた際、トランプ氏側の弁護をしたことでトランプ氏と知り合った。2001年に結婚すると2人はトランプ・タワーに住居を構え、ジョージ氏が夫人をトランプ氏に紹介した。

トランプ氏の大統領就任とともに夫妻は8つのベッドルーム、11のバスルーム付きの大邸宅を800万ドルで購入し、4人の子どもと共にワシントンに移った。当時はジョージ氏もトランプ大統領支持者だった。夫人がトランプ大統領誕生に貢献し、顧問となったことを大きな誇りとしていた。

しかし、ジョージ氏は次第にトランプ大統領に幻滅し、昨年末に共和党系ベテラン政治戦略家であるジョン・ウィバー氏やスティーブ・シュミット氏と共にリンカーン・プロジェクトという政治活動委員会を設立した。

共和党内の反トランプの人々

共和党内には2016年の大統領選挙で最後までトランプ候補を応援せず、大統領となっても支持しない人々がいる。そうした面々の多くがこれまでアメリカの政治世界で実績を積み影響力を発揮してきたにもかかわらず、共和党がトランプの党と化すと党から疎んじられ多くが口を閉ざしたり、トランプ大統領支持に回った。そ